

ご近所のお医者さん

□
496
□

森口医院長 森口久子さん 一守口市

風疹の流行注意

2018年から日本国内で風疹が流行しています。風疹は、風疹ウイルスによる感染症で、3日程度の発熱、全身の発疹、リンパ節の腫れが特徴です。自覚症状がないまま、近くの人に感染を広げる不顕性感染もあります。17年の感染報告者数は全国で93人でした

免疫のない女性が妊娠初期に罹患すると、胎児にも感染し、障害を引き起こす疾患を総称する症候群です。妊娠初期(特に3カ月以内)に胎児内で、ウイルスが一定量以上に増えると、発症の可能性が高まると言われています。

時点で、感染者の多くは40代の男性です。40代の男性はこれまで風疹の定期ワクチンを接種する機会がなく、風疹の特異抗体価が低い世代です。そこで、厚生労働省は19、22年の3年間限定で、1962、79年生まれの男性を対象に、風疹特異抗体価が低い場合に麻疹風疹混合(MR)ワクチンを接種する事業を行っています。対象者にはクーポン券が送られてきますので、可能な限り早急に受診してください。

予防ワクチンの接種を

な限り早急に受診してください。

が、18年は2917人、19年は6月末時点で1896人に上っています。

風疹の流行で、先天性風疹症候群の発生が懸念されます。風疹ウイルスに

三大症状は先天性心疾患と難聴、白内障です。その他、網膜症や血小板減少症、糖尿病、発育遅滞など多岐にわたります。胎児の感染は、胎盤絨毛やさい帯血、羊水などから風疹ウイルスを伝子を検出することで診断できます。先天性風疹症候群そのものの治療法はなく、予防が最も大切です。

予防で重要なことは、風疹に対して十分な抗体価を保有することです。現

また、妊娠可能年齢の女性で、風疹抗体価がない、または低い場合は積極的にワクチンを接種することをお勧めします。ただし、妊娠している女性は接種することはできませんので、注意してください。妊娠している女性の配偶者、または妊娠を希望する本人及び配偶者に対し、風疹抗体価が低い場合に、MRワクチン接種の助成を行っている自治体もあります。

